

医療インターンシップ（5/22）の報告

去る5月22日(水)、中間考査を終えた午後、希望生徒が耳原総合病院で医療系体験実習に参加しました。参加者は、医師体験コース10名、薬剤師コース16名、リハビリコース2名、看護師コース3名の31名でした。

体験後のアンケートでは、参加した全員が医療に対する興味・関心が一層喚起されたと答え、そのほとんどが医療方面への進路に対する意識が高くなったと答えました。

<生徒アンケートより>

- ・実際の業務を体験することで改めてそのやりがいや責任、魅力を肌で感じることができました。薬の正しい飲み方や薬剤師になるにはどうすればいいかを教えて頂いたり、実験や機械の操作をさせて頂いたことはとても貴重な体験だったと思います。今までは気持が少し揺れていましたが、今回の体験で薬剤師を目指そうと決断することができました。
- ・患者さん一人一人に真剣に対応しているのがよくわかった。性格や状態を考えて、リハビリの仕方を変えていて医療の現場を見ることができた。リハビリをしている患者さんの必死に頑張る姿を近くで見ることができて良かったと思う。リハビリを受けたことはないのですが、どれだけ辛いかわからないけど、先生が頑張っている姿を見ていたら自分も頑張ろうという気になれる病院だと思った。

